

2018年12月26日

Velodyne LiDAR オートモーティブワールド 2019 出展概要

新開発の自動運転車用・超高解像度・長距離 3D LiDAR センサを初公開

Velodyne LiDAR 社は、2019年1月16日~18日に東京ビックサイトで開催されます【オートモーティブワールド 2019】の自動運転 EXPO（ブース No.E62-4）に出展します。

Velodyne LiDAR ブースでは、米国と中国で間もなく始まるモビリティサービス向けに使われる自動運転車搭載用の超高解像度・全方位長距離 LiDAR、非回転型・超高解像度・長距離 LiDAR など新開発のセンサを中心に展示します。

また Velodyne LiDAR 社は多くの OEM を獲得する中で、今後の量産・製造品質を光学技術や精密技術面から強化するため、株式会社ニコンと共に技術開発および製造での協業を含めたビジネスアライアンスの検討を開始いたしました。



超高解像度・全方位長距離 LiDAR
Alpha Puck



非回転型・超高解像度・長距離 LiDAR
Velarray

【出展モデル一覧】

①	Alpha Puck : 超高解像度・全方位・長距離 LiDAR	開発車向けの販売を開始
②	Velarray : 非回転・超高解像度・長距離 LiDAR	開発車向けの販売を 2019 年開始
③	Ultra Puck : 中解像度 32 チャンネル LiDAR	通常販売中の製品
④	Puck : 低解像度 16 チャンネル LiDAR	通常販売中の製品

【Velodyne LiDAR 社の 2019 年 方針】

- ★MaaS を中心としたライドシェア、ロボ TAXI、ラストマイルデリバリ、自動物流車などモビリティサービスを手掛ける OEM 向け LiDAR センサの開発と製造。
- ★レベル 3/4 自動運転技術を搭載する個人所有車ビジネスのデザインコンセプトにフィットする OEM 向け LiDAR センサの開発と製造

【Velodyne LiDAR 社の概要】

米国高等軍事技術院が主催する自動運転車の技術を競う DARPA グランドチャレンジに、現：Velodyne LiDAR 社の CEO・David Hall 氏が自らチームをひきいて参加。リタイアするチームが続出する中で、どうしたら自動運転を実現できるかを考え生み出されたのが全方位 LiDAR センシング技術である。そして、数多くの参加チームで開発された LiDAR が採用され、完走車が続出したことは多くの人が知るところ。その後、Google が自動運転車の実現に向けた取り組みをスタートし、数多くの自動車関連企業、大学において Velodyne LiDAR 社の LiDAR を用いた研究・開発がすすめられた。モビリティサービスを中心にした自動運転ビジネスの到来を見据えて 2015 年から本格的に LiDAR センサメーカーになるべく Velodyne LiDAR 社を設立。今日まで数々の OEM を獲得し 2017 年 7 月には新工場として San Jose にメガファクトリーを稼働させている。

社名 : Velodyne LiDAR, Inc
 本社所在地 : 5521 Hellyer Avenue, San Jose, California
 CEO : David Hall
 従業員 : 570 名
 事業内容 : LiDAR センサの開発と製造

Velodyne LiDAR 社 公式サイト : <https://www.velodynelidar.com/>

オートモーティブワールド 2019 公式サイト : <https://www.automotiveworld.jp/ja-jp.html>